

令和元年度（第 25 期）にいがた市民大学
 「人生の質」を高める知恵—より豊かに生きる— 公開講座
 「身近な「ハマる」から考える嗜癖と依存」 実施概要

【会 場】 万代市民会館 多目的ホール（新潟市中央区東万代町 9 番 1 号）

【日 時】 令和元年 7 月 27 日（土） 午後 2 時～午後 4 時

【講 師】 新潟県立看護大学 講師
 徐 淑子(ソウ スッチャ) 氏

【参加者】

計 100 名

(内訳)

- ・講座受講生 54 名
- ・一般参加者 46 名



【内 容】

講義の前半では、講師の方から、日常生活に存在する多数の「ハマる」についてお話しいただきました。「ハマる」が加速するプロセスの説明や、その危険性についてもお話しいただきました。嗜癖や依存の問題は、依存症の本人だけでなく家族にも関わってくるため、依存症の方には治療やケアが必要となります。また、依存症には地域生活での治療も重要です。具体的には、自助グループに参加して、仲間とともに依存症からの回復を目指すものや、回復施設での継続的なりハビリなどがあります。依存症の本人を責めるのではなく、周囲の理解と助けが重要である、とお話しされました。

講義の後半では、依存症の当事者の方によるミニスピーチがありました。また、ギャンブルや薬物依存に苦しんだ方のお話や、今現在の生活についてお話をいただきました。また、薬物依存症の子どもがいる保護者の方からもお話しいただきました。当事者の方々の、「今は楽しく暮らしている」といった言葉があり、中々聞くことのできないリアルなお話でした。

依存症は身近なものであることや、依存症への正しい理解の重要性について学んだ講義となりました。

